



歌舞伎俳優の市川老蔵さんが、「セイコーミュージアム 銀座」、「グランドセイコーブティック フラッグシップ和光」のお客

市川老蔵さんが、時の文化を銀座から世界に発信

セイコーHDのグループアンバサダーに

様第一号として、銀座から時の文化を世界に発信することがわかった。これは、セイコーホールディングス(株)が8月5日にグループアンバサダーとして起用を発表した市川老蔵さんが、8月19日に銀座でリニューアルオープンする「セイコーミュージアム 銀座」、和光本館2Fの「グランドセイコーブティックフラッグシップ和光」にお客様第一号として訪問し、銀座の新たなランドマークの誕生を祝す、アンバサダー活動の一環である。

今後市川さんは、グランドセイ

コーを手掛けるセイコーウォッチ、高級専門店・和光などグループ事業会社のイベントやセイコーホールディングスグループの活動などに参加し、セイコーブランドの価値を世界に訴求していくことになっている。

セイコーは1881年服部金太郎が生誕地に近い采女町(うねめちやう:現在の中央区銀座5丁目付近)で創業した服部時計店に起源を持つ。また、1932年に銀座4丁目交差点に竣工した当時の本店・現在の和光本館は時計塔とともに銀座のランドマークとして今も親しまれている。常に時代の一步先を行く革新者として約140年の歴史

地球のように美しいサステナブルウォッチ

CITIZEN Lから限定モデル



地球環境や人に配慮したサステナブルウォッチブランド「CITIZEN L」より、輝き続ける未来を願ったデザインした地球がイメージされた文字板とダイヤモンドが輝く腕時計2モデルが数量限定で9月中旬に発売される。価格は8万5000円+税~10万円+税。

大粒ダイヤモンドの大胆さと繊細な動きで魅せる大人のラグジュアリー、地球をイメージしたブルーグリーンの白Arcly Collectionの限定モデル(EW5522-38W/2000本)は、ケースベゼルとリングの間にセットされた大粒のダイヤモンドが回転しながら揺れるダイヤモンが人気のライン。白蝶貝と組み合わせ合わせた深い海のように有機的で鮮やかなブルーグリーンの文字板は地球

をイメージ。文字板とガラス面にも大小4ポイントのダイヤモンドを施すことで、文字板に映るダイヤモンドの影が立体感を生み出している。ダークブラウンのサテン風合成皮革とウォームゴールド色ケースの組み合わせで、デイリー使いも可能なクラシカルで落ち着いたデザインに仕上がっている。

女性の芯の強さや美しさを立体的なスクエアデザインで表現されたスクエアコレクションの限定モデル(EG7060-93W/1200本)は、4個のパーツが組み合わせられた立体的なスクエアケースに整然と並ぶダイヤモンドと、ガラス面に配られた大小異なるダイヤモンドの組み合わせで女性の芯の強さや美しさを表現している。全20ポイントのダイヤモンドが並ぶシルバーカラーのケースに地球をイメージしたブルーグリーンの白蝶貝文字板と組み合わせ、地球が輝き続ける未来への道筋を表現。文字板とガラス面に施された大小異なる4ポイントのダイヤモンドが文字板に立体感を生み出している。ケースサイズは横幅22.4mmと大きすぎず、デイリーに最適なサイズ感となる。

G-SHOCK × 八村塁選手

シグネチャーモデルを発売



カシオ計算機は、耐衝撃ウォッチ「G-SHOCK」より、プロバスケットボールプレイヤー八村塁(はちむらう)選手による初めてのシグネチャーモデル『GST-B100RH』を8月8日に発売した。

同社は、2019年11月より八村選手とG-SHOCKによるグローバルパートナーシップ契約を締結しており、新製品の『GST-B100RH』は、学生時代からG-SHOCKを愛用している八村選手がデザインを監修したシグネチャーモデルとなる。異素材を組み合わせたベゼルが特徴の「G-STEEL」シリーズより、大型のディスク針を備えたアナログクロノグラフ「GST-B100」をベースモデルに採用。ブラックを基調にメタル部にエッジの効いたゴールドIPを施し、クールな印象に仕上げている。八

村選手の名前や背番号の「8(八)」にちなんで、8時のインデックスやボタンパイプ、ディスク針などに情熱的なレッドをあしらった。シグネチャーモデルの証として、裏蓋や遊環、専用パッケージには「Black Samurai logo」と呼ばれる八村選手オリジナルのロゴを配している。

八村選手は「僕がイメージしたデザインそのままに完成され、すばらしいです。色々なファッションに合いそうで良くて、僕のロゴが時計に刻まれているのもすごくかっこいいですし、僕にとって重要なシンボルなので嬉しです。」とコメントを寄せている。

アナログ高度計備えたプロフェッショナルウォッチ



プロフェッショナルスポーツウォッチとしての高い性能に加え、「想像力」という価値を提案する『シチズン プロマスター』から、地上10,000mから海拔-300mまで計測可能なアナログ高度計を備えた「エコドライブ アルティクロン」の数量限定2モデルが9月中旬に発売される。価格は10万円+税。

「エコドライブ アルティクロン」は、地球上のあらゆる山の頂を上回る地

「Night Hike」をイメージしたモデルだ。カフストラップ(裏ぶたクッション付きのバンド)は、極寒の環境下でも裏ぶたの金属が肌に触れないよう考慮した仕様で、カラーリングやステッチなど随所にこだわったデザイン。BN4055-35Wはシックなブラウンのシボ(シボ模様)カーフ、BN4055-27Eはカーフバンドの裏材部分にウレタン素材を貼り合わせた強度の高い仕様を採用している。

両モデルとも定期的な電池交換が不要な光発電エコドライブで駆動、またデュラテクトMRKにデュラテクトDLCを重ねたスーパーチタニウム™製のケースは、軽量で耐傷性に優れている。多くの情報を表示する文字板は、可能な限りシンプルなレイアウトで視認性を高めている。また、高度表示と時刻表示それぞれの判別をしやすくなるため、針や夜光の色を使い分けている。

ゴールドカラーのベゼルが映えるBN4055-35Wは、日の出直後や日没直前に高山の山頂が太陽光を受けて赤く輝いて見える現象「Alpine Glow」をイメージ。艶やかな黒にイエローの差し色が鮮やかなBN4055-27Eは、夜間登山「Night Hike」をイメージしたモデルだ。カフストラップ(裏ぶたクッション付きのバンド)は、極寒の環境下でも裏ぶたの金属が肌に触れないよう考慮した仕様で、カラーリングやステッチなど随所にこだわったデザイン。BN4055-35Wはシックなブラウンのシボ(シボ模様)カーフ、BN4055-27Eはカーフバンドの裏材部分にウレタン素材を貼り合わせた強度の高い仕様を採用している。

両モデルとも定期的な電池交換が不要な光発電エコドライブで駆動、またデュラテクトMRKにデュラテクトDLCを重ねたスーパーチタニウム™製のケースは、軽量で耐傷性に優れている。多くの情報を表示する文字板は、可能な限りシンプルなレイアウトで視認性を高めている。また、高度表示と時刻表示それぞれの判別をしやすくなるため、針や夜光の色を使い分けている。

セイコーミュージアムが銀座に移転



企業博物館として19日に開館時と時計に関する展示約500点

セイコーホールディングス(株)は、8月19日、創業者・服部金太郎氏の生誕160周年事業の一環として、時と時計の博物館「セイコーミュージアム」を墨田区より創業の地・銀座に移転し、地下1階から5階まで6フロアからなる企業博物館として開館する。ミュージアムのファサードには高さ約5.8mの大型振り子時計「RONDEAU LA TOUR(ロン・ラ・トゥール)」がお目に見える。

同ミュージアムは、1981年、創業100周年事業として製造工場・精工舎(現セイコークロック(株)内に設立した研究施設セイコー時計資料館を母体として、2012年にはより多くの来館者へのセイコーブランド訴求を目指し、セイコーミュージアムとして再出発。グループ会社内にある創業以来の史料を取

集し、保存、編集する企業ミュージアムであると同時に、より広い意味で「時」と「時計」の歴史の研究を行う場所である。子ども向けを含めたワークショップなどの開催も視野に、バランスのとれたミュージアム活動を行うことで社会貢献の一端を担うことがセイコーミュージアムの特長となっている。

館内ではフロアごとにテーマを設け、時と時計に関する展示約500点を紹介している。日本の時計産業の近代化を進め「東洋の時計王」と呼ばれた服部金太郎氏の挑戦と努力の足跡を辿る「服部金太郎ルーム」を設置し、その「常に時代の一步先を行く」という創業精神を紹介するほか、セイコーの時計の歴史と切り離すことができないスポーツ時計や、多くの冒険家たちを支えてきたスポーツウォッチなど、極限に挑む時計技術を体感できる。さらに、日時計から始まる世界の時計の歴史や、日本で独自に発展した江戸時代の和時計コレクションの展示など、セイコー製品以外の歴史展示も充実しているのが見だ。

開館時間は10時30分~18時まで(休館:月曜日・年末年始)。1日3回の事前予約制(入場無料)。

腕時計 1960年代の国産時計をイメージしたクラシカルな機械式自動巻腕時計 TICTACのオリジナル



腕時計のセレクトショップ「TICTAC」が、オリジナルブランドのMovement in Motionから、1960年代の国産時計をイメージした、クラシカルな機械式自動巻腕時計の新作『クラシック・スポーツ』を発売した。

『Movement in Motion』は、日々顧客と対峙する腕時計専門店ならではの着眼点で、時を経ても古くならないデザインを心がけ、ディテールや色づかい、質感や素材にもこだわって展開。自分らしいスタイルを持つ人の「マイ・スタンダード」を目指している。

新作は機械式自動巻腕時計の『CLASSIC SPORTS』シリーズから登場。光沢のあるサンレイダイヤルにドールフィン針を合わせ、1960年代の国

産時計を思わせるスポーツティでクラシカルなスタイルに仕上がっている。36mm径の小ぶりなラウンド型ケースを採用し、毎秒8振動のハイビートムーブメントを搭載。ダイヤルに開けた6時位置の小窓から、時を刻むムーブメントの鼓動を楽しめる。機械の仕様やローターの動きを見て楽しめるシリーズルーパー、ラグや尾錠にエッジの効いた加工を施すなど、ディテールにもこだわっている。

グレイ、シルバー、ネイビーの3色展開(ネイビーダイヤルのみ9月発売予定)。価格は4万4000円+税。機械式自動巻(Cal.MIYOTA 90C5)、パワーマチック40時間、ステンレススチール、ミネラルガラス、5気圧防水。

ワクワクすると好評のわたしのクレパス柄トケイ全77色で展開



7月29日より新宿メトロピア店で開催されている「クレパス柄トケイPOP UP SHOP」で、自慢したくなるほどの世界でひとつだけのオリジナル腕時計が作れると子供や女性に人気を博している。これは(株)カザワが開展する時計専門店タイムステーションNEOとサク

ラクレパスがコラボした「クレパス柄トケイ」の期間限定企画。「わたしのクレパス柄トケイ」を作ろうと題し、自分の好きなカラーで時計のカスタマイズを楽しむ。

作るのも簡単。5つの時計パーツを、それぞれ全77色から自分好みの色を選べば。選んだパーツは、時計技師が丁寧に組み立てる。完成した腕時計はかわいいクレパス柄のBOXに入れられ渡される。

また、やわらかいシリコンバンドは軽やかに着け心地で暑い夏でも使いやすい。クレパスで書いたようなアラビア数字のインデックスやクレパスを模した針がかわいいと好評。「クレパス」のような全77色の豊富なカラーバリエーションは、眺めているだけでもワクワクする。

フォルティスから航空自衛隊ブルーインパルスの限定モデル



世界70以上の飛行部隊のためにパイロットウォッチを製作してきたスイスウォッチ「FORTIS」から、日本の航空自衛隊第11飛行隊、通称ブルーインパルの創立60周年を祝し、日本限定モデル2機種(各50本)が発売され注目

されている。発売されたのは、FORTISのオフィシャル・コスモノートシリーズをベースに製作されたクロノグラフの「638ブルーインパルス」(36万円+税)と、三針の「647ブルーインパルス」(22万円+税)。

どちらのモデルも立体的なアブライドインデックスを備えたダイヤルの9時位置に、ブルーインパルスのロゴマークを配置。ケースの繊細なヘアライン仕上げと両面無反射サファイアクリスタルは日光の反射を防ぎ、瞬時の読み取りを可能にしている。さらにリュースのダブルパッキンシステムにより、非ねじ込み式リュースにも関わらず20気圧防水を確保している。ステンレススチール製プレスレットのほかにコーデュラナイロン製ストラップ1本が付属する。

本物は手から生まれる

The artistry of Japanese craftsmanship

PRESAGE

SARW035 120,000円+税 メーカー希望小売価格 自動巻 www.seikowatches.com

SEIKO

SINCE 1881

セイコーウォッチ株式会社